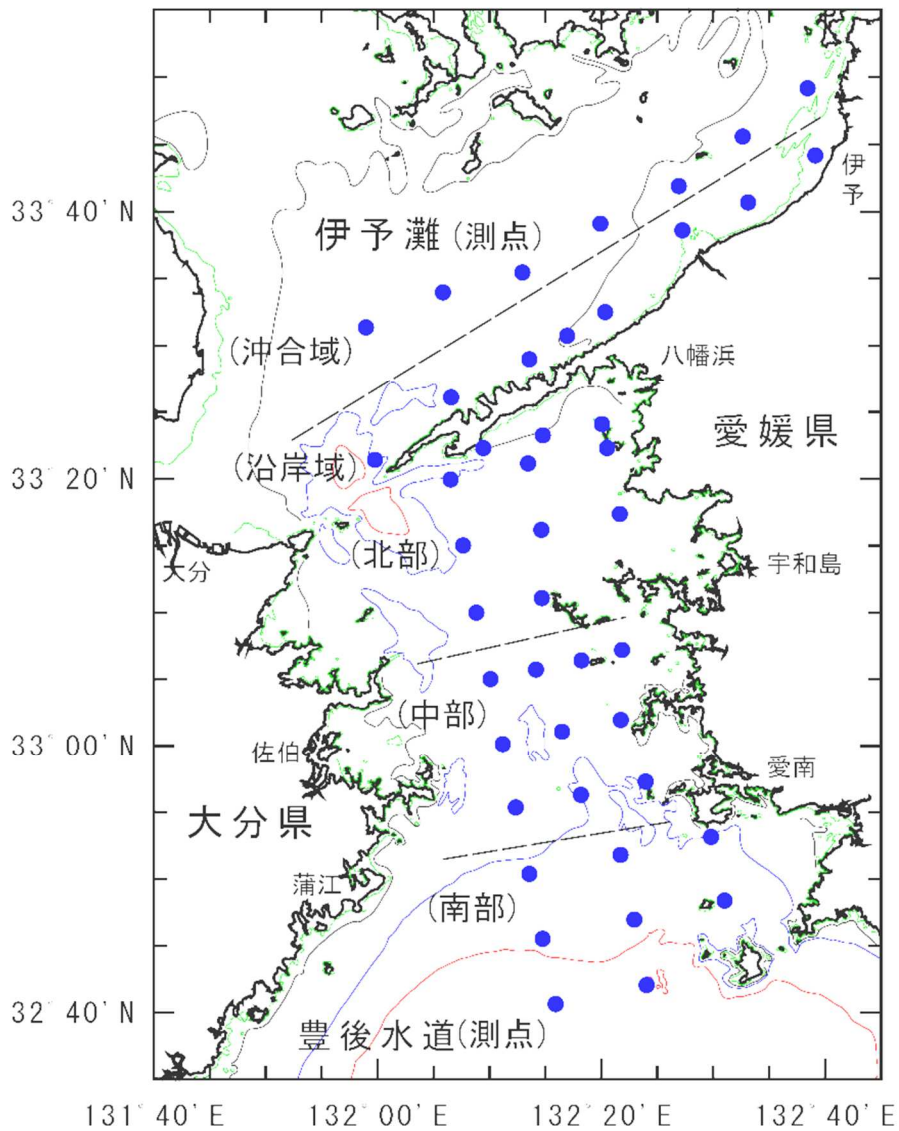


豊後水道東側（宇和海）の海況と小型浮魚類
（イワシ類・マアジ・サバ類）の出現状況について
2023 年 4 月～6 月の経過と 2023 年 8 月～12 月の予測



2023 年 8 月 28 日

愛媛県農林水産研究所 水産研究センター
環境資源室

○概要

令和5年7月26日、27日に国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所が、太平洋側21都道府県の関係試験研究機関による資源調査結果等を踏まえて太平洋側の漁海況経過の総括と予測を行うため長期漁海況予報会議を行いました。そこで、2023年4月～6月について太平洋側の海況と浮き魚5種（マイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マアジ・サバ類）の漁海況経過を取りまとめ、2023年8月～12月の漁海況の予測を行いました。

本稿では豊後水道東側における漁海況の経過と予測についての概要を紹介します。詳細については、水産研究・教育機構のHPをご参照ください。

https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2023/20230731_1st_iwashi.html

○海況 ※平年:平成3年(1991年)～令和2年(2020年)の30年間の平均

【2023年3～7月の海況経過】

◇水温

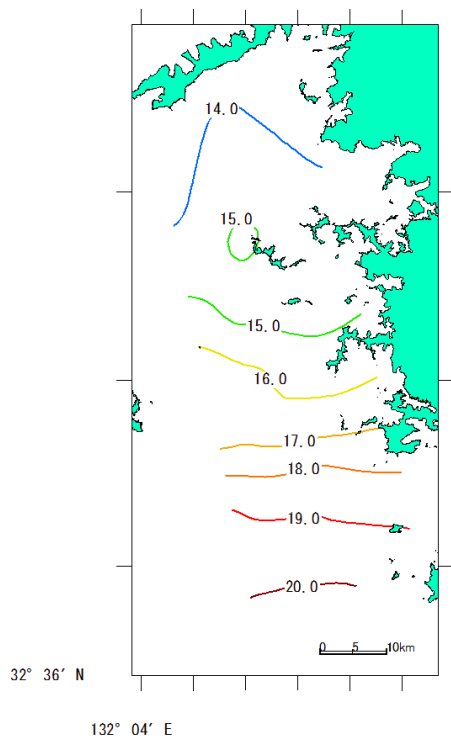
北部：3月は全層で「平年並み」。4月は0～10m層で「平年並み」、20～75m層で「やや高め」。5月は0～10m層で「やや低め」、20～75m層で「平年並み」。6月は0～50m層で「平年並み」、75m層で「やや高め」。7月は全層で「平年並み」（図1参照）。

中部：3月は全層で「平年並み」。4月は0～10m層で「平年並み」、20～50m層で「やや高め」、75m層で「高め」。5月及び6月は全層で「平年並み」。7月は0m層で「平年並み」、10～75m層で「やや高め」（図1参照）。

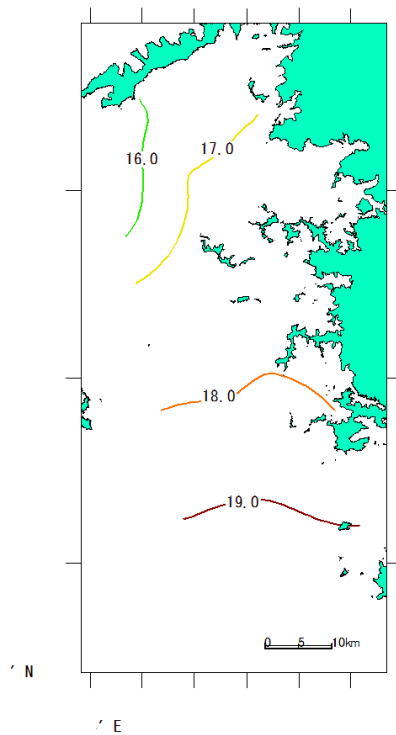
南部：3月は0～50m層で「高め」、75～100m層で「やや高め」。4月は全層で「平年並み」。5月は0～20m層で「低め」、50～75m層で「やや低め」、100m層で「平年並み」。6月は0～20m層で「やや低め」、50～100m層で「平年並み」。7月は0～50m及び100m層で「平年並み」、75m層で「やや高め」（図1参照）。

【水温（10m層・℃）】

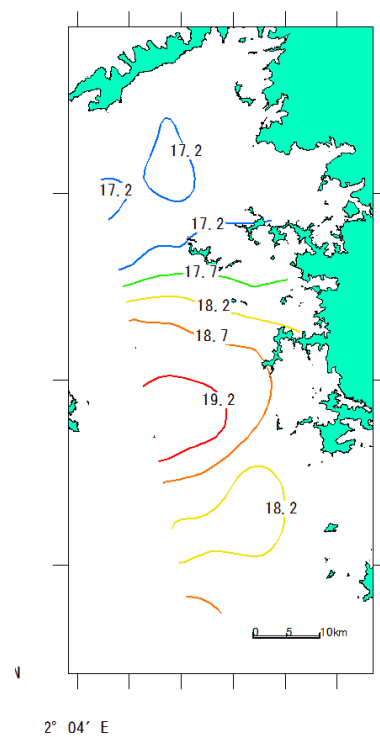
3月



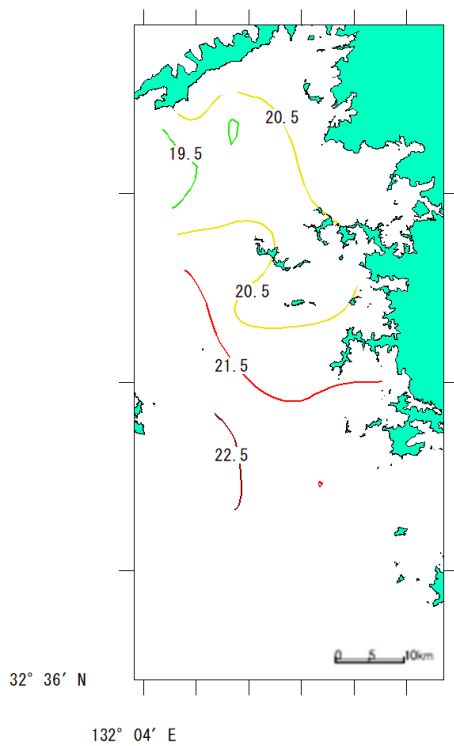
4月



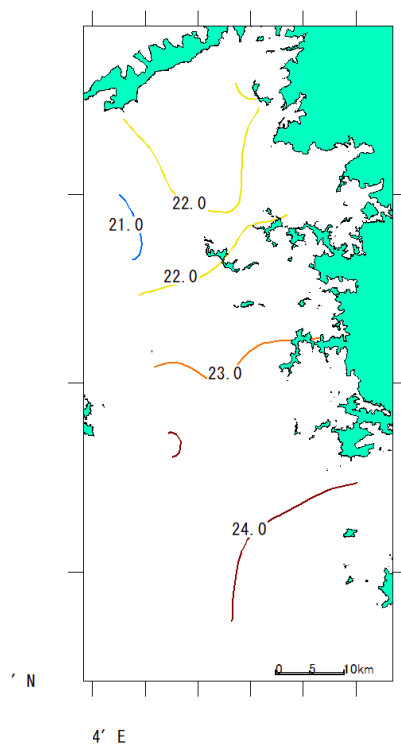
5月



6月



7月



	水深	3月	4月	5月	6月	7月
豊後水道 北部 (愛媛)	観測日	15日	24日	23日	22日	20日
	0m	+ -	+ -	-	+ -	+ -
	10m	+ -	+ -	-	+ -	+ -
	20m	+ -	+	- +	+ -	+ -
	50m	+ -	+	- +	+ -	+ -
	75m	+ -	+	+ -	+	+ -
豊後水道 中部 (愛媛)	観測日	3日	9日	22日	20日	3日
	0m	- +	+ -	- +	+ -	+ -
	10m	- +	+ -	- +	+ -	+
	20m	- +	+	- +	+ -	+
	50m	- +	+	- +	+ -	+
	75m	- +	+	- +	+ -	+
豊後水道 南部 (愛媛)	観測日	10日	21日	11日	16日	6日
	0m	++	- +	- -	-	+ -
	10m	++	- +	- -	-	+ -
	20m	++	- +	- -	-	- +
	50m	++	+ -	-	- +	+ -
	75m	+	+ -	-	+ -	+
	100m	+	- +	- +	+ -	+ -

評価基準

+++ (---) : 平年よりかなり高め(低め)

++ (--) : 平年より高め(低め)

+ (-) : 平年よりやや高め(低め)

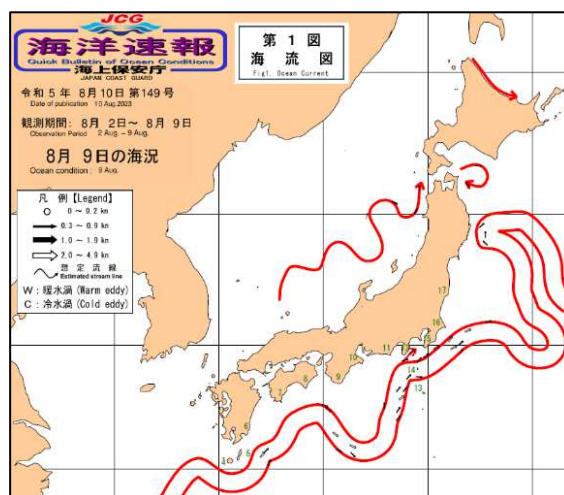
+ - (- +) : 平年並み (プラス, マイナス基調)

図1 豊後水道東側における月別の海況図と水温平年偏差

◇黒潮

✓都井岬沖：概ね接岸傾向で推移した。

✓足摺岬沖：3月上旬～中旬と6月下旬に「やや離岸」となった以外は、「かなり離岸」～「著しく離岸」で推移した。



8月9日の海況図（海上保安庁 海洋情報部 HP より引用）

【2023年8～12月の黒潮の見通し】

◇都井岬沖：離岸傾向で推移する。

◇足摺岬沖：離岸傾向で推移するが、一時的に接岸する。

○漁況 ※近年：過去5年間の平均 平年：過去20年間の平均

マイワシ

【2023年3～6月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、3～6月を通してわずかであった。盛期は4～5月であったが平年の水揚量を大きく下回った。月別には3月30.9トン、4月20.7トン、5月0トン、6月1.6トンで、計53.2トン、（対平年比5.6%）であった（図2、3参照）。

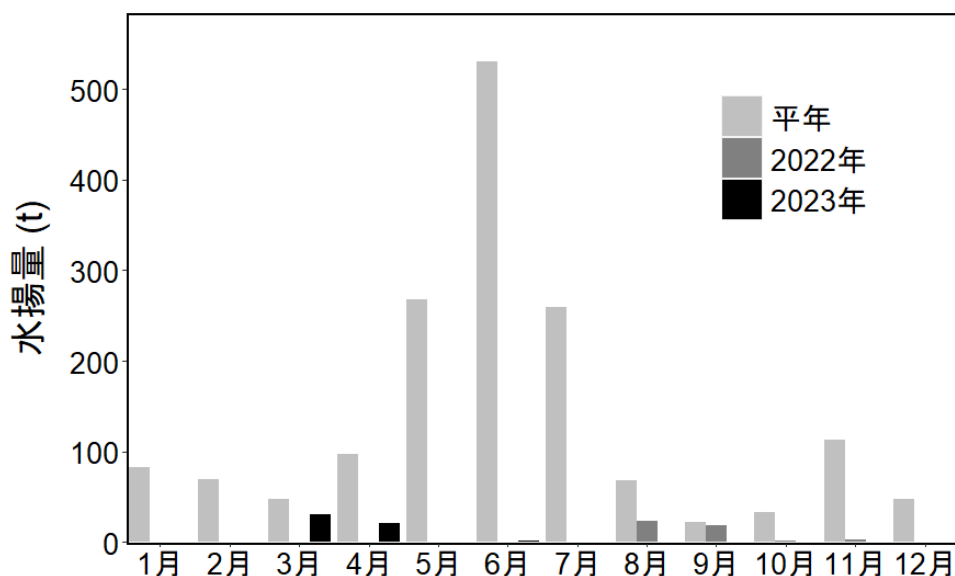


図2 豊後水道東側における月別マイワシ水揚量

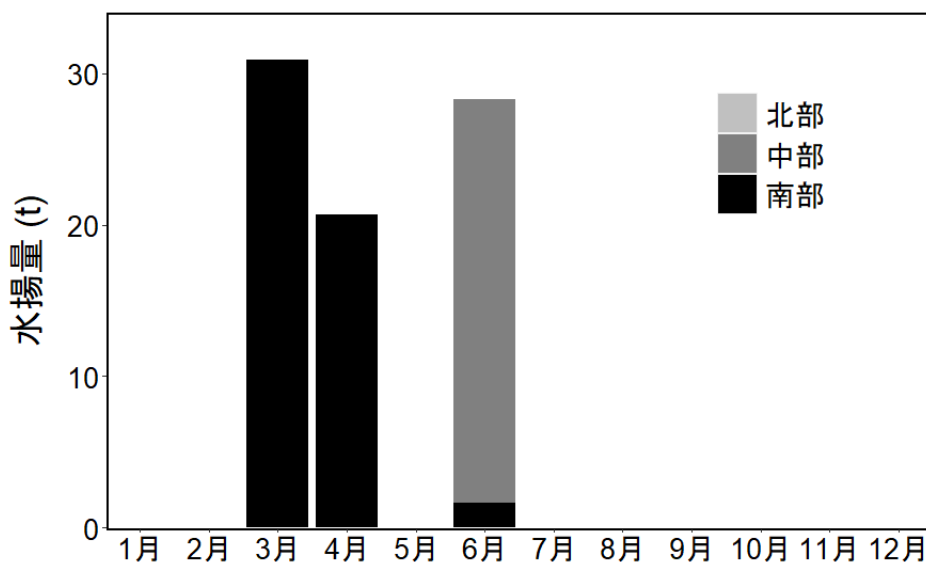


図3 豊後水道東側における海域別のマイワシ水揚げ量

【2023年8～12月の漁況予測】

予測期間中の漁獲対象となる0歳魚の水揚量について、2023年3～6月の水揚量が前年同期をやや上回っていることから、前年を上回るものの、平年を大きく下回ると予想される。

カタクチイワシ

【2023 年 3～6 月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）におけるカタクチイワシの水揚量は 3 月 120.6 トン、4 月 56.0 トン、5 月 370.0 トン、6 月 1908.0 トンで、計 2454.6 トン（対平年比 150.0%）であった（図 4、5 参照）。

豊後水道（宇和海）におけるカタクチシラスの水揚量は 3 月 120 kg、4 月 1714 kg、5 月 638 kg、6 月 911 kg で、計 3383.0 kg（対前年比 10.2%）であった（図 6 参照）。

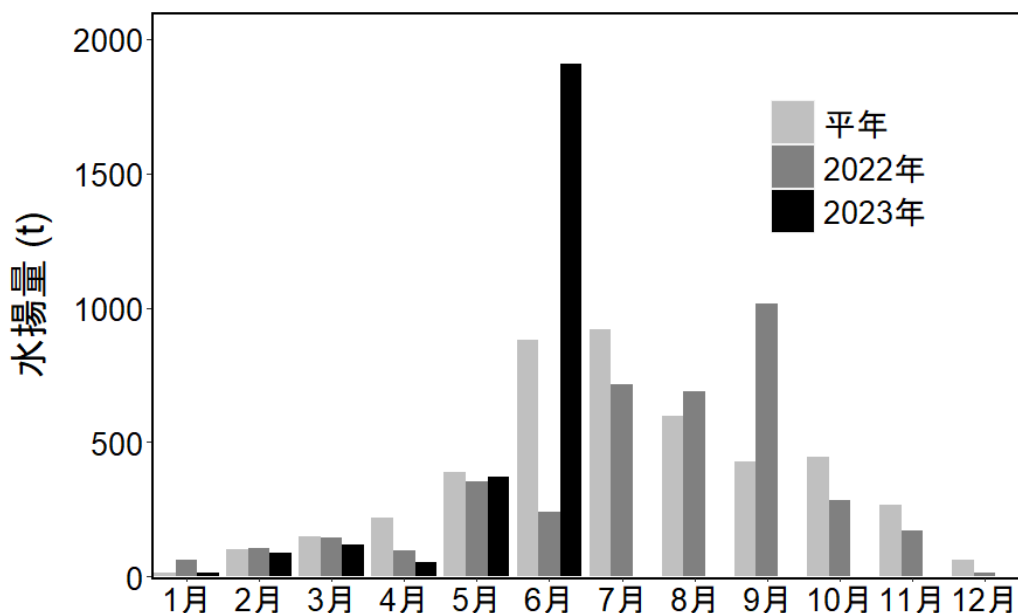


図 4 豊後水道東側における月別カタクチイワシ水揚量

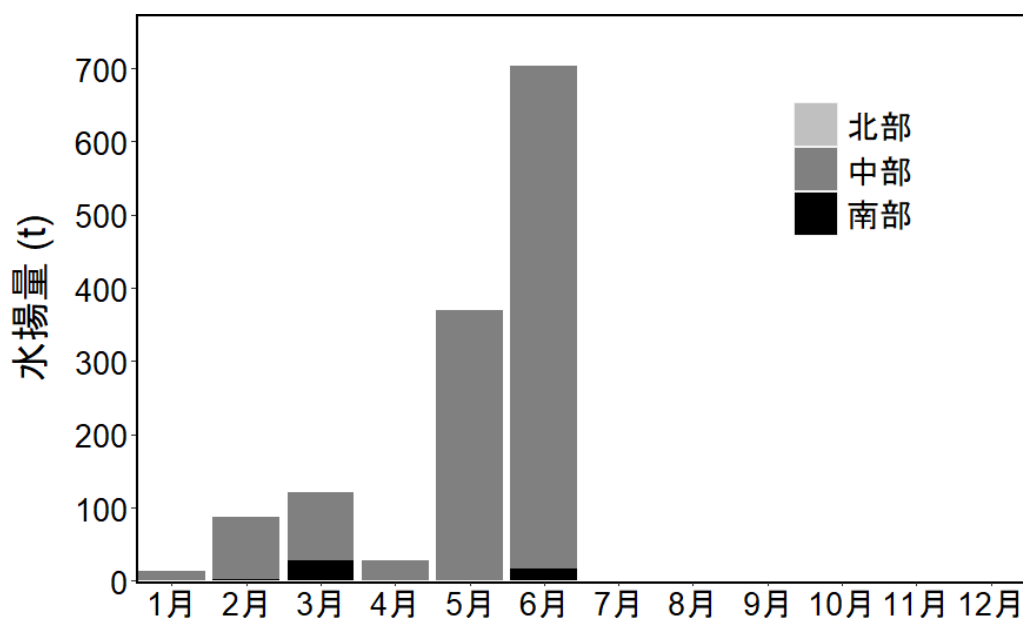


図 5 豊後水道東側における海域別のカタクチイワシ水揚量

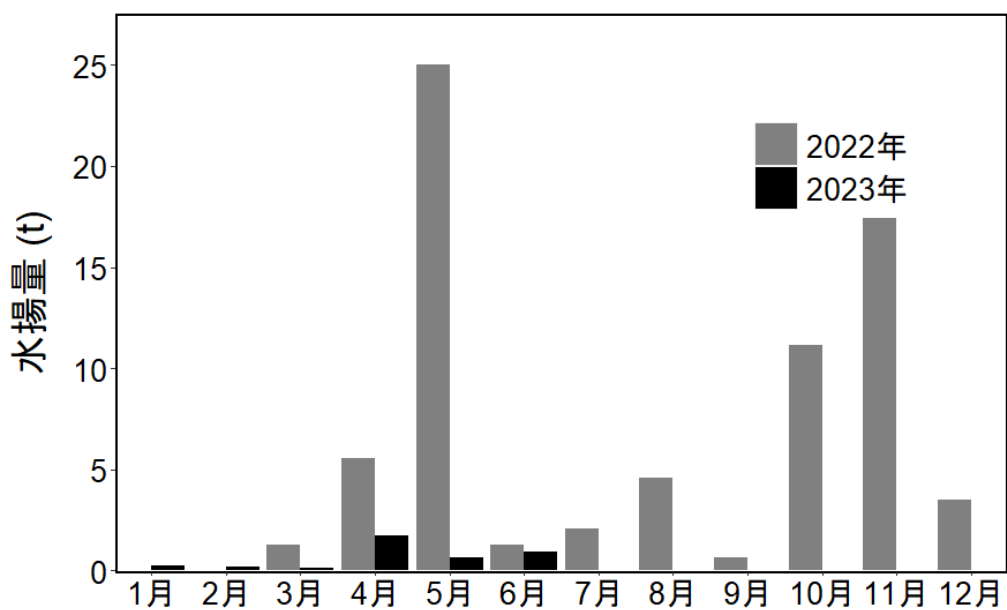


図6 愛媛県漁協吉田支所の月別シラス漁獲量（漁獲成績報告書より作成）

【2023年8～12月の漁況予測】

8～12月は、被鱗体長100mm以下の本県周辺海域で発生したと推定される個体が漁獲の主体となる。カタクチシラスの水揚量が前年同期を大幅に下回ったことから、前年同期を大きく下回ると予想される。

ウルメイワシ

【2023 年 3～6 月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚げ量は、3 月 84.8 トン、4 月 119.9 トン、5 月 666.2 トン、6 月 332.6 トンで、計 1203.5 トン（対平年比 114.2%）であった（図 7，8 参照）。

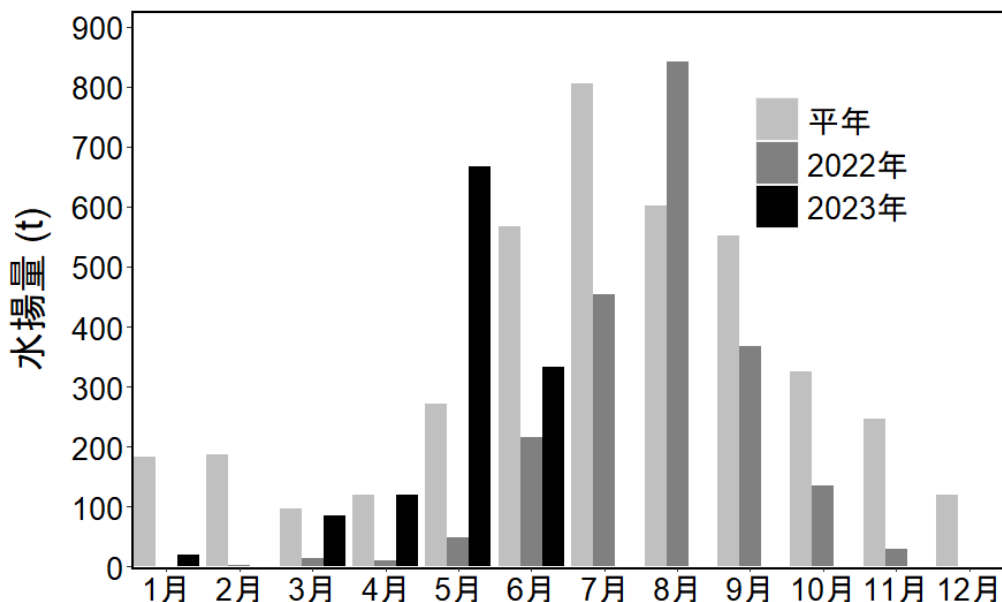


図 7 豊後水道東側における月別ウルメイワシ水揚げ量

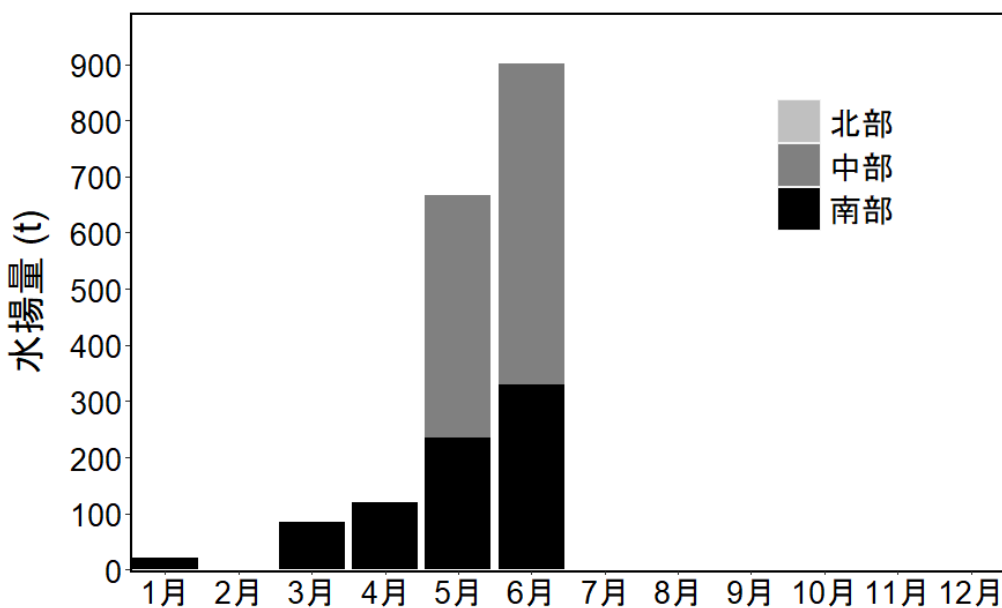


図 8 豊後水道東側における海域別ウルメイワシ水揚げ量

【2023 年 8～12 月の漁況予測】

8～12 月においては、3～6 月に加入した当歳魚が水揚げの主体となる。3～6 月と 8～12 月の水揚げ量には正の相関関係が認められることから、前年同期を大きく上回ると予測される。

マアジ

【2023 年 3～6 月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、3月 19.0 トン、4月 10.3 トン、5月 37.1 トン、6月 51.4 トンで、計 117.8 トン（対平年比 12.5%）であった（図 9、10 参照）。

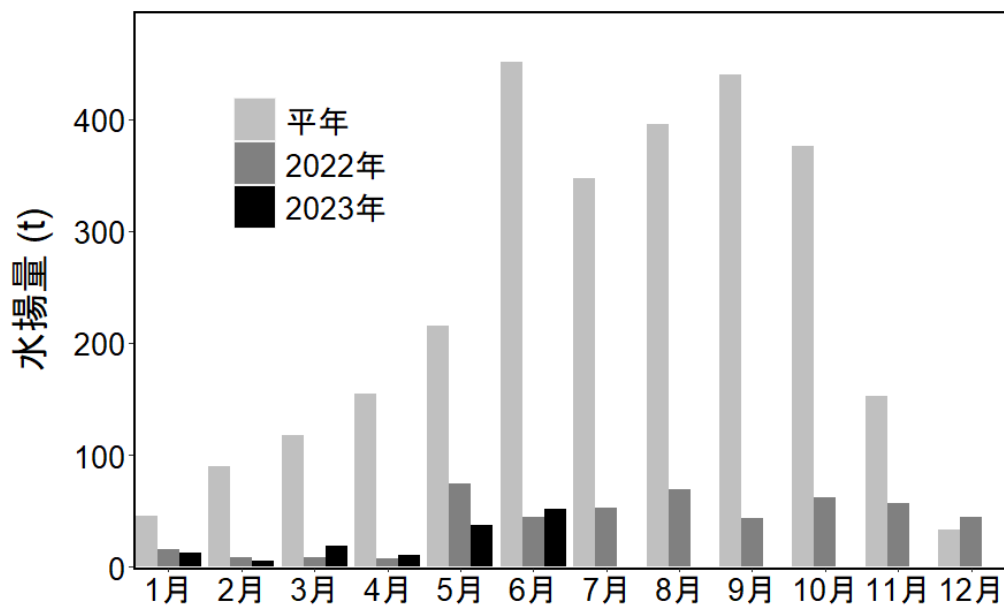


図 9 豊後水道東側における月別マアジ水揚量

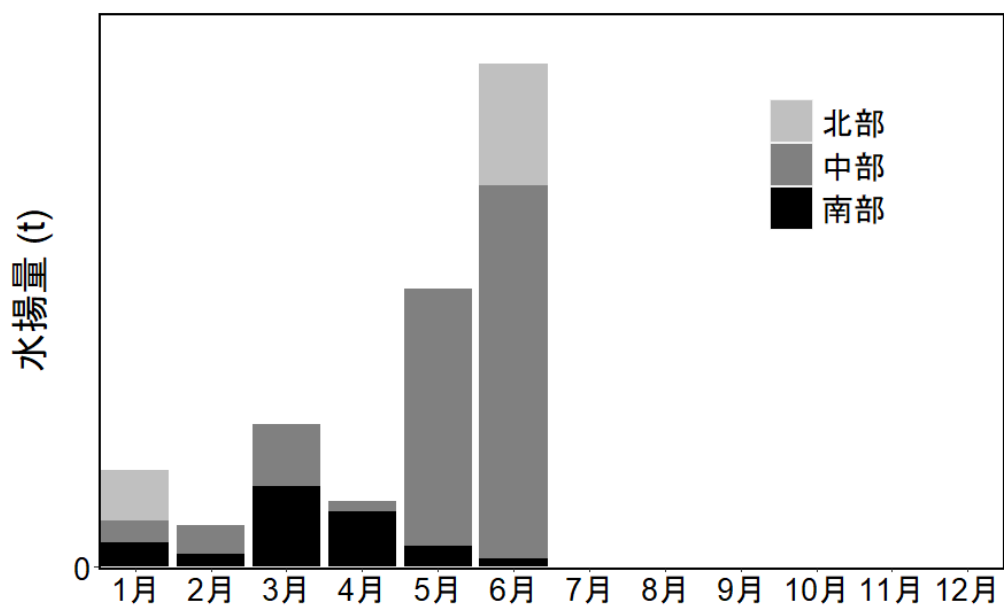


図 10 豊後水道東側における海域別マアジ水揚量

【2023 年 8～12 月の漁況予測】

8～12 月においては、3～6 月に加入した当歳魚が水揚げの主体となる。3～6 月と 8～12 月の水揚量には正の相関関係が認められることから、前年並と予測される。

サバ類

【2023 年 3～6 月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、3 月 60.1 トン、4 月 2485 トン、5 月 1804 トン、6 月 55 トンで、計 4404.1 トン（対平年比 294%）となった（図 11, 12 参照）。

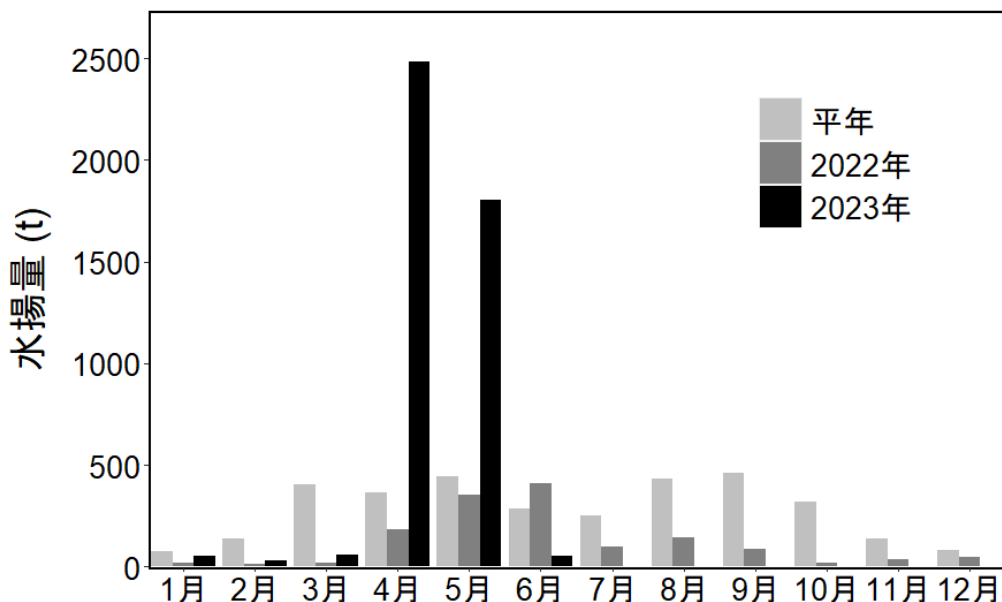


図 11 豊後水道東側における月別サバ類水揚量

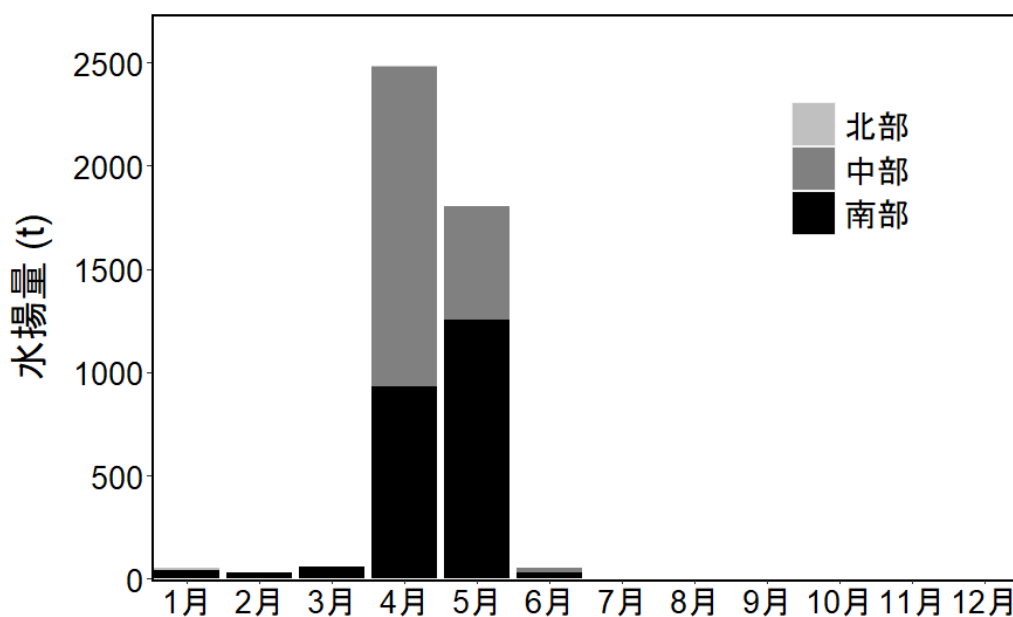


図 12 豊後水道東側における海域別サバ類水揚量

【2023 年 8～12 月の漁況予測】

3～6 月における当県の水揚量が前年同期を大きく上回ったことから、来遊水準は前年を大きく上回ると予測される。3～6 月における当県の混獲割合から、今後もゴマサバを中心に来遊すると予想される。